

会津坂下町新庁舎建設検討委員会だより【第1号】

平成29年7月25日発行

会津坂下町新庁舎建設検討委員会事務局
(会津坂下町 政策財務課 TEL84-1504)

第1回会津坂下町新庁舎建設検討委員会が開催されました

会津坂下町役場庁舎の建設を検討するにあたり、幅広い見地から意見を求め検討を行う「会津坂下町新庁舎建設検討委員会」の第1回委員会が、7月13日(木)に開催されました。委員会は、町内の各組織代表者20名で構成され、町長より委員に委嘱状が交付され、委員長に高久庄三氏、副委員長に山内真一氏が選任されました。

また、町長より委員長に諮問書が手渡され、新庁舎建設に向け、基本構想・基本計画の検討・協議が進められることとなりました。



◆第1回委員会での主な確認事項については次のとおりです。

○新庁舎建設スケジュール

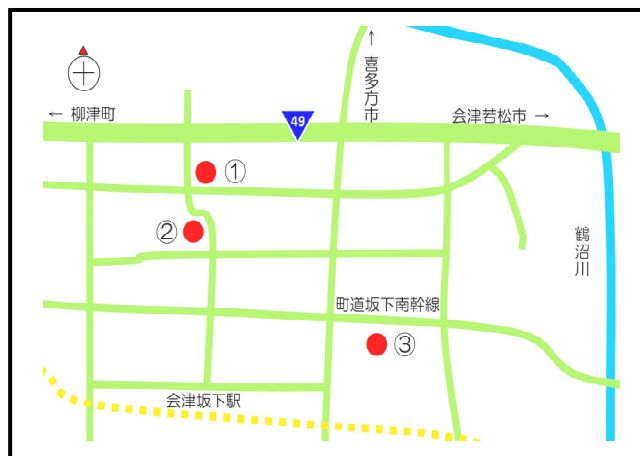
役場庁舎は、昭和36年に建設され55年が経過しており、平成8年度に実施した耐震診断結果では構造耐震指標を大きく下回り危険な建物と判断されていること、役場庁舎は災害時の防災拠点として様々な機能が求められており、早期の対応が必要であること、分散している行政機能(東分庁舎・南分庁舎)を集約し、町民の利便性向上を図ることから、第五次会津坂下町振興計画後期基本計画に最重点プロジェクトとして位置付けられております。

新庁舎の建設スケジュールとして、今般、国より示された財政支援措置の期限である平成32年度中の着工を前提として、本年度中に建設候補地の選定をしていくこととなりました。

○調査対象とする新庁舎建設候補地

町が保有している未利用地等を活用していくこととし、次の3つの用地を基本として、調査及び検討・評価を進めていくこととなりました。

- ①現本庁舎・北庁舎、東分庁舎
及び東駐車場用地
- ②旧営林署、保健福祉センター
及び中央公園用地
- ③南幹線南側町取得予定県有地



○町民アンケート調査の実施

新庁舎建設に関する町民の意向等についてお聞きするため、町民アンケート調査(18歳以上無作為抽出)を実施することとなりました。

◆委員等からの主な意見については次のとおりです。

- これからの役場庁舎の建設については、今後の10年20年後を見据えて、どのような機能が必要かという観点を踏まえ、「こういう庁舎であってほしい」という部分を一緒に検討していく必要がある。
また、建設候補地については、3つの候補地を中心としながらも、他の土地についても意見を出し合いながら、適地の決定をしていく必要がある。
- 平成32年度から着工を見据え、基本計画や基本設計などのスケジュールをもっと早めるべきである。
- 町民が主役であり、町民の施設利活用も含めて庁舎の面積規模を決めなければならない。町民中心の庁舎を目指すべきである。
- 会津坂下町役場は、狭くて駐車場がないとの話をよく聞く。広い敷地で、買い物や通院などのアクセスも容易な、町民の利便性向上につながる、町民がワクワクするような用地を候補地とすべきである。
- 各種計画との整合性や敷地面積を踏まえるとともに、中心市街地の空洞化にも配慮し、議論を進めていく必要がある。
- 庁舎が移転する場合には現庁舎の跡地利用についても、商店街の活性化等も踏まえて検討していく必要がある。
- 複合施設の機能については、国・県の補助金等の活用についても検討していく必要がある。



○会津坂下町新庁舎建設検討委員会委員名簿

(敬称略)

所 属	氏 名	所 属	氏 名
社会福祉協議会 会長	高久 庄三	坂下地区地域づくり協議会 会長	鶴見 常夫
商工会 会長	原 幸二	仲町商栄会 会長	齋藤 仁男
商工会 女性部長	目黒留美子	町議会総務常任委員会 委員長	五十嵐正康
商工会 青年部長	小林 悠介	町議会産業建設常任委員会 委員長	渡部 順子
観光物産協会 理事長	高久栄一郎	町議会文教厚生常任委員会 委員長	三橋 薫
J A会津よつば坂下支店 支店長	五十嵐 尚	認定農業者会 会長	二瓶 隆
民生児童委員協議会 会長	二瓶 敦子	NPO法人こころの森 副理事長	佐藤ひとみ
区長・自治会長会 会長	波多野健悟	会津坂下町消防団 団長	山内 真一
坂下婦人会 会長	猪股 範子	NPO法人N I V O 理事長	藤田 勝彦
会津坂下青年会議所 理事長	二瓶 浩孝	会津坂下町教育委員会 委員	渡辺 秀一